

#### (4) 総理大臣・特命担当大臣の談話

平成 21 年 1 月 2 日、「交通事故死者数が第 8 次交通安全基本計画の目標を下回ったことに関する内閣総理大臣（中央交通安全対策会議会長）の談話」（以下「総理大臣談話」と言う。）を公表し、今後 10 年間を目途に、さらに交通事故死者数を半減し、世界一安全な道路交通の実現を目指すという決意を明らかにした。

さらに翌平成 22 年 1 月 2 日、「交通事故死者数が 5 千人を下回ったことに関する内閣府特命担当大臣（中央交通安全対策会議交通対策本部長）の談話」（以下「特命担当大臣談話」と言う。）を公表し、先の総理大臣談話をさらに推し進め、発生件数や負傷者数についても一層減少させるという決意を明らかにした。

政府としては、これらの談話にしたがって、『平成 30 年を目途に、交通事故死者数を半減させ、これを 2,500 人以下とし、世界一安全な道路交通の実現を目指す』という政府目標を掲げ、交通事故防止対策の推進を図っているところである。

図表 II- 15 交通事故死者数が第 8 次交通安全基本計画の目標を下回ったことに関する  
内閣総理大臣（中央交通安全対策会議会長）の談話（平成 21 年 1 月 2 日）

昨年 1 年間の交通事故死者数は、5,155 人でした。平成 22 年までに交通事故死者数を 5,500 人以下とする「第 8 次交通安全基本計画」の目標を、2 年前倒しで達成しました。

近年の交通事故死者数の減少は、シートベルトの着用者率の向上や、飲酒運転の根絶等に向けた取組を始めとする政府、地方自治体、関係民間団体、地域の方々の努力の成果であります。この間、交通事故防止に御尽力いただいた方々に感謝いたします。

また、平成 15 年からの 10 年間で、交通事故死者数を半減し、5,000 人以下にするという政府目標を掲げております。その実現も、間近となりました。

しかしながら、いまだに多くの方が、交通事故で亡くなっていることは、憂慮すべきことです。

新たな年を迎え、私は、今後 10 年間を目途に、更に交通事故死者数を、半減させる決意をいたしました。

この目標の実現は容易ではありませんが、政府、関係団体、国民を挙げて力を結集し、世界一安全な道路交通の実現を目指してまいります。

そのためには、高齢化が更に進むことを考えると、高齢者に対する対策に重点的に取り組まなければなりません。また、飲酒運転の根絶、交通安全教育の推進、安全かつ円滑な道路交通環境の整備に力をいれます。

国民の皆様の、御理解と御支援を、お願いいたします。

中央交通安全対策会議会長  
内閣総理大臣 麻生 太郎

図表 II- 16 交通事故死者数が 5 千人を下回ったことに関する内閣府特命担当大臣  
（中央交通安全対策会議交通対策本部長）の談話（平成 22 年 1 月 2 日）

昨年 1 年間の交通事故による死者数は 4,914 人となり、一昨年より 241 人減少して、昭和 27 年以来、実に 57 年ぶりに 5,000 人を下回りました。また、平成 18 年以来取組を強化し、近年急激に減少してきた飲酒運転についても、その死亡事故件数は更に約 6%の減少となりました。これは、政府、地方自治体、関係民間団体のみならず、国民一人一人が、積極的に取り組んだ成果であると考えています。

しかしながら、約 91 万人もの方々が交通事故により死傷されているという厳しい状況は、依然として続いています。特に、死者数に占める高齢者、歩行者等の割合は、欧米諸国と比較して高くなっています。

年頭に当たり、私は、交通事故死者数を更に減少させるとともに、発生件数や負傷者数についても、一層減少させる決意を固めました。

今後、「平成 30 年を目途に、交通事故死者数を半減させ、これを 2,500 人以下とし、世界一安全な道路交通の実現を目指す」という交通安全対策の目標に向け、高齢者、歩行者等の安全確保を始めとする様々な対策の充実・強化を図ります。

「世界一安全な道路交通の実現」は容易ではありません。しかし、政府と国民の皆さんが共に力を結集して、この目標を実現しようではありませんか。このためにも、政府は、「第 9 次交通安全基本計画」の策定に、全力で取り組みます。

国民の皆さんの御理解と御支援を、心からお願いいたします。

中央交通安全対策会議交通対策本部長  
内閣府特命担当大臣  
福島 みずほ

(5) 現行計画の目標達成状況及び死者減少の要因分析

道路交通環境の整備、交通安全思想の普及徹底、安全運転の確保、車両の安全性の確保、道路交通秩序の維持、救助・救急体制等の整備等、計画に基づく諸対策を総合的に推進してきたことにより交通事故死者数は、減少してきている。このような減少要因のうち定量的に示すことができる主な要因としては、a. シートベルト着用者率の向上、b. 飲酒運転等悪質・危険性の高い事故の減少、c. 高速走行の事故の減少、d. 法令違反の歩行者の減少、e. 車両の安全性向上が挙げられる。

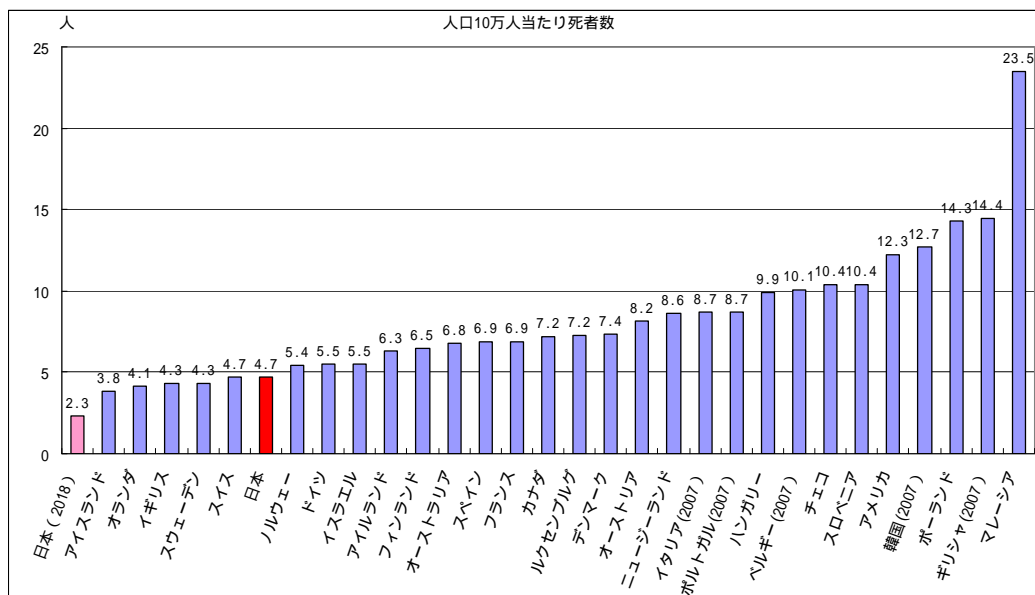
(6) 交通事故死者数の国際比較

10万人あたり事故死者数

国際道路交通事故データベース（IRTAD）がデータを有する 29 か国について、人口 10 万人あたりの死者数を比較すると、我が国は 4.7 人（2008 年）であり、第 6 位に位置している。平成 30 年を目途に交通事故死者数を 2,500 人以下とする目標が達成されれば、我が国の人口 10 万人あたりの死者数は 2.3 人となる。

ただし、欧米諸国との比較で見ると、我が国の交通事故死者の特徴として「高齢者」「歩行中」「自転車乗用中」の占める割合が圧倒的に高くなっている。

図表 II-17 人口 10 万人あたり交通事故死者数の国際比較



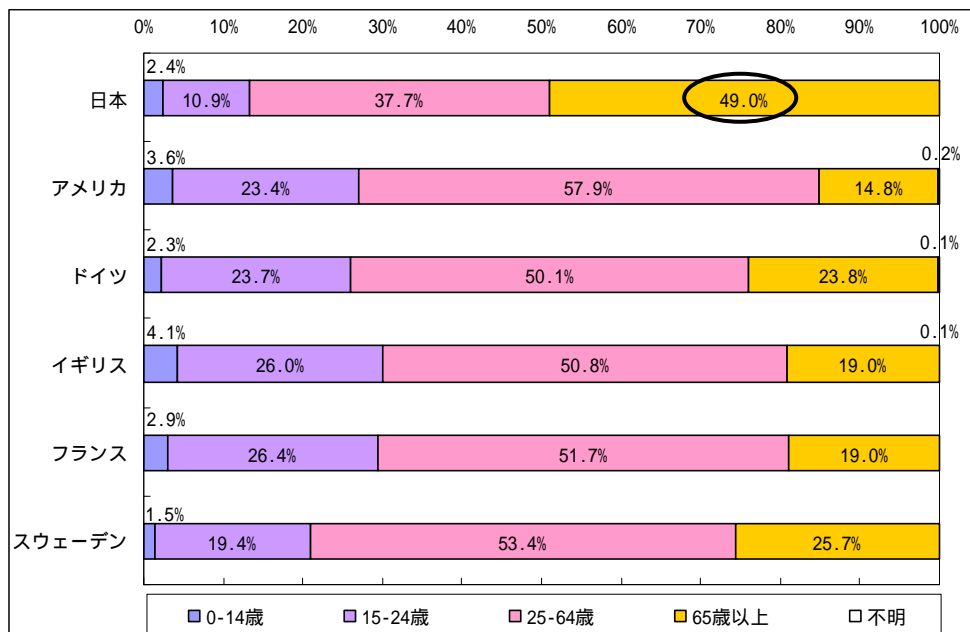
資料) IRTAD 資料より作成

注 1) 国名に年数(西暦)の括弧書きがある場合を除き 2008 年の数値である(ただし「日本(2018)」を除く)。

2) 数値は全て 30 日以内死者(事故発生から 30 日以内に亡くなった人)のデータを基に算出。

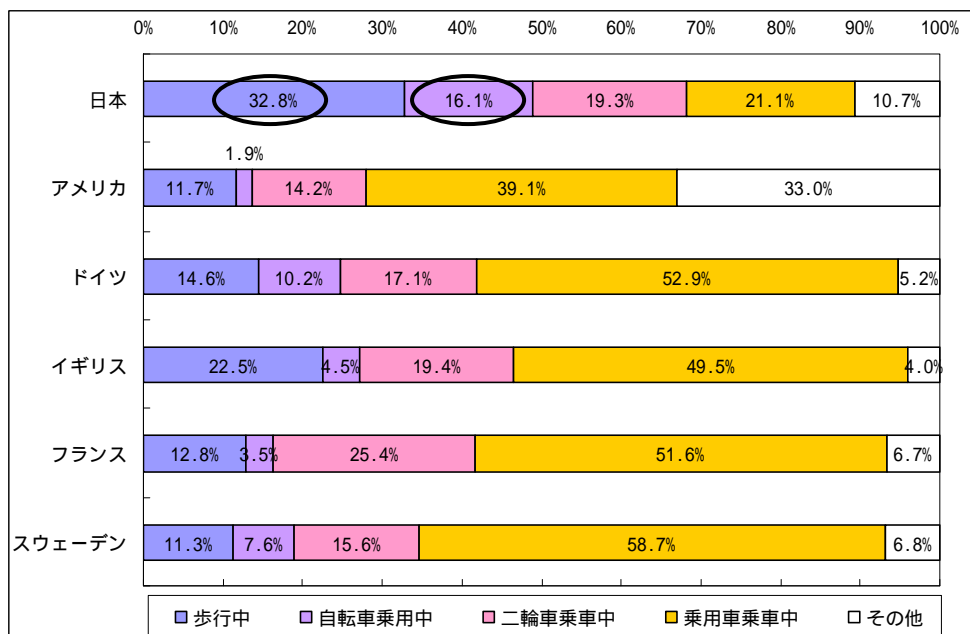
3) 日本(2018 年)の数値は、政府方針案である 2018 年(平成 30 年)の 24 時間死者数の目標 2,500 人に、2007 年の日本の 24 時間死者数と 30 日以内死者数の比率を乗じることで 2018 年における 30 日以内死者数を 2,890 人と推定し、この推定死者数と 123,915 千人(2030 年における日本の予測人口)を用いて算出した(123,915 千人は国立社会保障・人口問題研究所「総人口年齢 3 区分別人口及び年齢構造係数: 出生中位(死亡中位)推計」(平成 18 年 12 月推計)より引用)。

図表 II- 18 主な欧米諸国の年齢別交通事故死者数の構成率（2008 年）



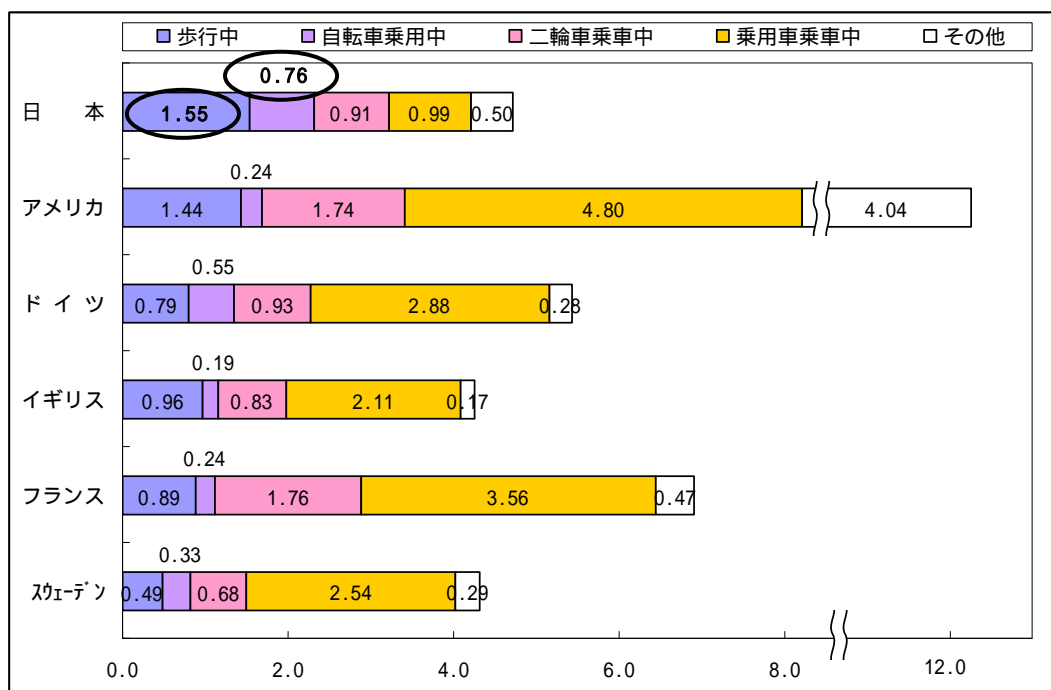
資料) IRTAD 資料より作成

図表 II- 19 主な欧米諸国の状態別交通事故死者数の構成率（2008 年）



資料) IRTAD 資料より作成

図表 II- 20 主な欧米諸国の人口 10 万人あたり状態別交通事故死者数（2008 年）



資料) IRTAD 資料より作成

### 各国の目標

日本においては、交通安全対策基本法に基づき、数値目標を定めた交通安全基本計画を5年ごとに策定しているほか、今後10年間で交通事故死者数を半減するとの目標を談話で示したところである。OECD諸国においても、中期で交通事故死者数の減少を目標としている国が多く見られるが、この中でも日本の掲げる目標は高い水準のものとなっている。

さらにイギリスやカナダでは、交通事故死者数に関する全体目標を設定する他に、対象別・状態別等のサブ目標を設定しており、特に重点的に対処すべきターゲットグループについては、全体目標をさらに上回る目標値を設定している。

図表 II- 21 各国における交通安全に関連する国の目標

国名	国の目標 ( National Target )
イギリス	2010年に、1994年から1998年の平均と比べて、死者数を40%減少 - 子どもの死者数を50%減少
豪州	2010年に、1999年と比べて、10万人あたりの死者数を40%減少
オランダ	2020年に、2000年から2002年の平均が1,106人であった死者数を580人以下とする。
カナダ	2012年に、1996年から2001年の平均と比べて、死者数を30%減少 - ベルト非着用者の死者数 40%減少 - 飲酒運転での死者数 40%減少 - 地方道路での死者数 40%減少 / 等
スウェーデン	2007年に、1996年と比べて、死者数を50%減少(537人を270人以下)
デンマーク	2012年に、2005年と比べて、死者数を40%減少(死者数200人未満)
ニュージーランド	2010年に、2001年に455人であった死者数を300人とする
フィンランド	2010年に、死者数を250人未満、2025年に、死者数を100人未満
フランス	2012年に、2006年に4,709人であった死者数を3,000人未満
米国	2011年に、1996年と比べて、100万VMTあたりの死者数を40%減少
EU	2010年に、2001年と比べて、死者数を30%減少

資料) OECD 資料より作成

注1) IRTAD では、fatalities は30日死者とされている。

2) VMT は vehicle miles traveled の略